



大山たか子通信

高ちゃんつうしん

★ 2017.10 No.47 ★



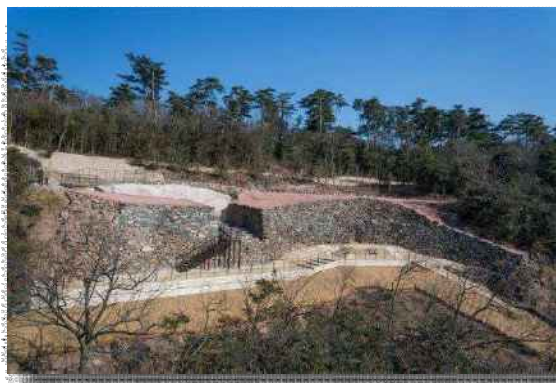
市議会:087(839)2831 自宅:087(888)3272

eメール:takachan@mxi.netwave.or.jp HP:http://wwwi.netwave.or.jp/~takachan/



皆さん！！最近屋島へ行かれたか？ 屋島へ一緒に行ってみませんか？

屋島の魅力について、皆様はどこまでご存知でしょうか？本市のシーフロントに位置する屋島は、メサと呼ばれる特徴的な地形や豊かな自然環境、日本書紀に記された古代遺跡「屋嶋城」や源平合戦の古戦場など数多くの歴史・文化資源があり、また山上からの景色は、「日本の夕陽百選・夜景百選」にも選ばれるなど、多面的な魅力を有する高松市のシンボルです。新屋島水族館には、屋島水族館と沖縄の美ら海水族館にしかない貴重なアメリカマナティーやバンドウイルカ、フンボルトペンギン、ゼニガタアザラシなどが飼育され、行った方が必ず満足して頂けるものです。今、気軽に訪れやすく屋島ドライブウェイの無料化、屋島山上拠点施設の整備や水族館のリニューアルに向け、事業手法の検討を進めています。屋島の新たな魅力の創出と効果的なPRで屋島を世界に誇れるシンボルとして活性化させようとしています。皆様！久しぶりに屋島へ行ってみませんか？



8月28日 屋島山上を山本ひろし参議院議員と一緒に視察です。国交省の景観まちづくり刷新支援事業の募集枠10地区の一つに認定され、16億円(国が半分)の予算がつきました。屋島山上拠点施設整備予定地、新屋島山上水族館、屋島城などを見学です。改めて屋島の素晴らしさを実感しました。

難病指定されているグルコーストランスporter-1欠損症の家族会の方のご相談を山本ひろし参議院議員と一緒に受ける。

4月16日 党员さんのご友人から、グルコーストランスporter-1欠損症の難病を患ったお子様のことでご相談を受けました。私自身初めて知った病名で、2014年現在、国内には100数名しか診断されていない超希少疾患です。この病気、未だに医師の間でも認知度が低く、診断がつかず、違う病気を疑われ、誤った治療をされてしまう実態があるそうです。国レベルのお話にもなり、山本ひろし参議院議員と一緒に再度様々なご要望を伺いました。その中で本市として取り組むべきものもあり、対応させて頂きました。



● 3月議会報告(質疑) ●



質問

- ①コンビニエンスストアの存在についての考え
- ②地域包括ケアシステム構築の構成員と捉え、更なる連携・協力をする考え
- ③コンビニエンスストアへ認知症サポーター養成講座の受講推進などを行い、真の地域で支え合う見守り体制を促進する考え
- ④堺市の有害図書類を青少年に見せない環境づくりの取組についての評価
- ⑤子ども達の健全な育成の観点からコンビニエンスストアの有害図書類の陳列における是正の考え

コンビニエンスストアとの連携について

答弁

⑤少年育成センター職員や少年育成委員による指導・巡回の際に、条例に違反している店舗が見受けられた場合は、改善を促す。また条例に基づく陳列が行われていても、有害図書類が子供の目につきやすいと現状から、より子供から見えにくい高さへの配置替えなど、子どもに配慮した陳列について日本フランチャイズチェーン協会に要望するなど取り組む。

質問

- ①事業主と労働者へのガイドラインの内容の研修実施等とがん検診受診の推進を実施する取り組み
- ②中小企業への就業支援事業の実施や健康経営に取り組んでいる企業の表彰制度を創設する考え

がん対策について

答弁

①来年度から胃がんの個別検診の対象年齢を現在の59歳から69歳までに拡充し、新たに1ヵ所で複数のがん検診を受診できる取組を開始するなど、一層の向上に努める。

質問

- ①29年度当初の待機児童状況
- ②企業主導型保育所 (ア)企業主導型保育所に対する所見 (イ)相談窓口の設置についての考え (ウ)周知啓発 (エ)安全面での指導監督
- ③保育所の第三者委員会 (ア)私立経営の保育所についての指導監督権限 (イ)公立、私立に関わらず、第三者委員会の実態調査を実施し、正しく苦情相談業務が行えるように指導監督すること

保育所問題について

答弁

③公立・私立に関わらず苦情解決制度の指導監督は本市が有しているので、苦情受付箱の設置や苦情解決制度の周知などについて、適正に業務が履行されていない場合は指導監督を行い、改善を求める。今後とも個別の案件に応じて、市も関わり、苦情解決制度の適正な運営に努める。

質問

- ①循環型社会実現を目指すため、「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に参加し、使用済み小型家電の回収増に取り組むこと
- ②家庭ごみの指定収集袋に広告を掲載すること

環境問題について

答弁

①まずはイベント開催時などに無償で提供しているボランティア袋への広告掲載を行い、家庭ごみ指定収集袋については、ボランティア袋への広告掲載の状況や先行市の状況から検討する。

● 9月議会報告(代表質問) ●

質問

- ①第7次高松市行財政改革計画の28年度実績に対する評価
- ②外部評価制度の選定条件と意義及び28年度、29年度の外部評価結果等取組について

行政関連について

質問

- ①九州北部豪雨災害から学びうる課題を分析し、本市の対策に生かしていくことについて
- ②改正水防法を受け、高齢者や障がい者、入院患者など配慮が必要な人が利用している対象となる施設の市内の箇所数と施設等への支援についての考え
- ③コミュニティタイムラインについての考え

防災減災対策に向けて

答弁

②本市の対象施設数は、六百余りで、対象施設への支援について検討するとともに、定期監査を実施する際に、避難確保計画の策定や避難訓練の実施状況を合わせて調査し、必要な指導・助言を行っていく。

質問

- ①市民病院の未収金に対するこれまでの取組み状況と今後の対応について
- ②市民病院における外国人旅行者の医療費未払いへの対応について
- ③新病院での音楽療法の活用についての考え

答弁

③まずは、地域包括ケア病棟の患者などを対象に、これまで実施してきたボランティアによる院内コンサートの充実や本市のデリバリーアーツ事業を活用した取組など、**集団的、受動的な音楽療法について検討していく。**

病院事業について

質問

- ①本市の子供の貧困実態について②貧困対策の協議の組織体制について③地域未来塾等による学習支援の充実について④子ども食堂などへの行政支援を行う考え⑤奨学金支給制度の成績要件見直しに至った考え方と今後の取組みについて⑥子どもの貧困対策のための相談体制の充実を図る考え

こどもの貧困対策について

答弁

④高松市子どもの貧困対策推進計画(仮称)の検討を行う中で、子ども食堂などへの行政としての望ましい支援の在り方について検討する。⑥ご相談いただいた方を適切な関係窓口につなぐことができるよう、福祉部門や保健部門、学校等との連携をさらに深めるように、相談体制の在り方について検討していく。

質問

- ①がん対策基本法施行10年を迎えるにあたり、本市のがん対策の推進状況の評価②受動喫煙防止対策の厚生労働省案についての所見③ホストタウン誘致や子供の健康維持の為に、更なる受動喫煙防止対策を進める考え④がん検診受診の再勧奨の現状と保健センターと福祉部局が連携をとり、再勧奨を行うなど今後の取組みについて⑤がん患者会への支援についての考え

答弁

④健康福祉局内にて、ケースワーカーによる生活保護受給者への家庭訪問や児童扶養手当等の相談の際に、がん検診のチラシも活用しながら、口頭による再勧奨を実施し、関係局課と更なる連携を図る。⑤来年の3月1日から8日までの女性の健康週間に併せて、患者会と連携し、患者と家族が安心して暮らせる日常生活につながるような事業を実施して、引き続き、がん患者等への支援に努める。

がん対策について

質問

- ①本市の救急車到着時間が9分かかる中での救命率向上のための対応策について②市民の命を守るため、夜間・休日でも使用できることやわかりやすく身近な場所への設置の為にコンビニ等へのAED設置推進を図る考え③本市の心肺蘇生法などの応急手当実施率の向上策について④教育現場におけるAED普及啓発状況とジュニア救命士育成等更なる取組について

答弁

②直ちに対応することは困難ですが、市民の安全で安心な生活につながることから、設置に当たり、人員配置の条件などを今後検討したうえで、コンビニエンスストア等に強く働きかける。

救命率向上策について

質問

- ①本市のユニバーサルデザイン社会構築の進捗状況について②市民の方々、職員、ボランティアの方々を対象に、あすチャレ! Academyやユニバーサルマナー検定を活用し、障がい者への気づきや気遣いの理解を進め、あらゆる人のニーズに合わせて対応できる、おもてなしの育成を行う考え③バリアフリー情報を投稿できるアプリを活用するなどし、完成目標を設定しユニバーサルデザインマップの作成を図る考え④日本パラ陸上競技選手権大会を心のバリアフリー教育に活かすため、教育委員会と連携して取り組む考え

答弁

②大会のボランティアの方、市民の皆様を対象とした啓発事業として、「あすチャレ!アカデミー」の研修なども参考に、ユニバーサルデザインのまちづくりに向けた、新たな取り組みを検討する。③来年度から地図情報システム更新を予定しているため、新システムの活用を視野に早期のユニバーサルデザインマップの作成を改めて検討する。④パラアスリートと子どもたちが交流できるような企画について検討するなど教育委員会はもとより、障がい者団体などの関係機関と連携・協力しながら心のバリアフリー教育の推進に努める。

ユニバーサルデザインのまちづくりにについて

質問

- ①MICE振興における屋島の位置づけの考え方②屋島の活性化を通し、シビックプライドの醸成を図る取り組みについて③ご当地検定などを行い、観光ボランティアガイドの育成を図る考え

答弁

③ボランティアガイド協会等と連携を図り、子どもや大学生など、様々な年齢層の方が、ボランティアに参加して頂けるよう、ご当地検定の活用等も含め、事業の充実を検討する。

観光振興について

質問

- ①地球温暖化防止に取り組む国際的なネットワーク「世界首長誓約/日本」の誓約に挑戦する考え②市民や事業者へのCOOL CHOICEに対する機運を高める一つとして、「一回で受け取りませんかキャンペーン」に参加し、公共施設に宅配ロッカーを設置するなど再配達防止の取組みを図る考え③COOL CHOICEの周知啓発事業を受けて、市民の方々が参画し、温暖化防止活動ができるための、今後の取組みについて

環境問題について

あっちこっち高ちゃん



4月16日 高松中央ライオンズクラブの一員として、丸亀町商店街の献血ルームでの献血勸奨のお声かけです。



5月14日 屋島レクザムフィールドオープンイベント第二弾の屋島GENPEIリレーマラソンに参加。約20kmのリレーでしたが、チームコメ助ファミリー9名で完走です。いやー疲れましたが、とても忘れられない思い出となりました。



5月29日 世界禁煙デーの意義を込めた香川フォーラムのお手伝い。スモークフリーコンサートやよしもと住ます芸人のコント、そして熊本市市民病院神経内科・首席診療部長の橋本洋一郎先生の講演を拝聴。



7月1日 第一回 街角リボンサロンに参加しました。ピンクリボンかがわ県協議会主催の初めての会です。初回は、乳がん手術で乳房の全摘や一部切除などの方のための、自作乳房パットを作りました。がん患者会の方や看護師の方も参加され、相談にも乗って頂けます。



7月23日 四国夏季議員研修会に参加です。

山口那津男代表に出席頂き、日本政治の安定性が重要であることや議員の政策力、発信力、現場力、拡大力をしっかりと行うことが大事であるとのこと。



8月14日 高松祭り最終日は、総踊りです。今年、市議連が高松祭りに参加して50回目の節目、笑顔いっぱい踊りました！！



7月31日 日本財団法人パラリンピックサポートセンター主催の「あすチャレ！Academy」講習を受けました。「障がいは人ではなく、環境にある」「ハードは変えられなくても、ハートは今から変えられる！」とのこと。その通り！！大変勉強になり、議会質問で取り上げました。



編集後記

5月の屋島GENPEIリレーマラソンに出場してより、週に2回ほど走っています。いつまで続くかは？？でも一度止めてしまうと二度と走れないような気がしますから・・・お会いした時に聞いて下さい。「走ってますか？」ってね。